

●目 次●

I. 咬合異常の診療ガイドライン

1. 咬合異常とは	1
1) 咬合異常の定義	
2) 本ガイドラインで扱う「咬合異常」	
2. 咬合異常の病因・主要症候	1
1) 異常な咬合接触	
2) 顎口腔系にみられる主要症候	
3. 咬合の検査	4
1) 咬合の検査とは	
2) 検査法	
4. 評価・診断	6
1) 診断基準	
2) 治療の到達目標	
5. 治療法	7
1) 咬合調整	
2) 歯冠修復処置	
6. 治療後の評価法	8
7. 術後の管理	8
8. 文 献	9

II. 顎機能障害の診療ガイドライン

1. 顎機能障害とは	13
1) 本ガイドラインの位置づけ	
2) 顎機能障害の定義	
3) 顎機能障害の類似用語	
2. 顎機能障害の病態	14
1) 主要症候	
2) 随伴症状	
3) 日本顎関節学会の顎関節症の症型分類	
3. 顎機能障害の疫学	15
1) 患者数	
2) 年齢分布	
3) 性差	
4. 顎機能障害の病因と発症・増悪メカニズム	16
1) 主な発症・増悪因子	
2) 発症・増悪メカニズム	
5. 顎機能障害の検査法と評価	16
1) 医療面接と診察	
2) 下顎運動の検査	
3) 咬合検査	
4) 画像検査	
5) 各種の機器を用いた検査	
6) 関節内視鏡検査	
7) 血液検査	
8) 心身医学的検査	
6. 顎機能障害の診断法	23
1) 病態の診断	
2) 発症・増悪メカニズムの診断	

3) 予後の診断	
4) 治療方針の立案	
5) 暫定的な診断	
7. 顎機能障害の治療法	24
1) 顎機能障害治療のアルゴリズム	
2) インフォームドコンセント	
3) ホームケア	
4) 理学療法	
5) 薬物療法	
6) 初期的咬合治療	
7) 咬合調整	
8) 歯冠修復などによる咬合治療	
9) 外科的治療	
10) 心身医学的治療	
11) 終診の目安	
8. 術後の管理	29
1) 引き続き患者が行うべきホームケア	
2) 経過観察	
9. 文献	30

III. 咀嚼障害評価法のガイドライン —主として咀嚼能力検査法—

1. 咀嚼能力について	35
1) これまでの研究における定義	
2) 本ガイドラインにおける咀嚼能力	
2. 咀嚼能力検査法	36
1) 直接的検査法	
2) 間接的検査法	
3) 咀嚼試料について	
4) 応用範囲	
3. 臨床判断・評価・診断のための基準値	39
4. 結 論	39
5. 文 献	40